48 大塩地区

イヤガ古墳

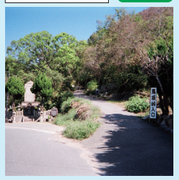
行った日

イヤガ池の岸にそった小道を入ると御嶽神社の社殿と天大忠地蔵がまつられた地蔵堂があります。社殿の後ろに盛り土があり、石組が見えています。もとは横穴式の円墳であったと思われます。

馬坂峠

行った日

昔、馬の首をうめたのでこの名前が付いたといわれています。ノジギクが咲くころが一番の見ごろで、岩と林のトンネルの向こうに町の風景が見えます。



大塩天満宮・毛獅子

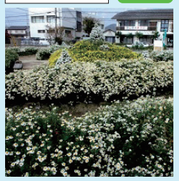
行った日

菅原道真がまつられています。都市計画道路大塩曽根線をつくることになったので、今の場所に移されました。10月14日・15日の秋祭りは8頭の毛獅子による道中舞と地舞が演じられる、いさましい獅子舞（県指定無形民俗文化財）が奉納されることでも有名です。

大塩のじぎく保存園

行った日

大塩サービスセンターの南側にのじぎく保存園があります。毎年11月にのじぎく祭りが開かれます。また、昔に船をつなぎ止めていた「もやい石」もあります。



梶原家住宅

行った日

大塩で一番たくさんの塩田を持っていた梶原家の住宅で、約2000坪（6600㎡）の土地に、1500㎡以上の建物が建っています。今の建物は江戸時代の終わりごろより後のもので、市の都市景観重要建築物等に指定されています。

こしかけ岩

行った日

こしかけ岩は、大塩の東から日笠山に登るところにある「岩神社」にあり、菅原道真がこの岩に腰をかけたから腰掛岩とよばれるようになったという言い伝えと、道真が乗っていた「輿」という乗り物をこの岩においたから「輿かけ岩」とよばれるようになったという言い伝えがあります。

清勝寺

行った日

播磨西国31番の札所で、菅原道真が開いたと伝えられています。応永2年（1395）に季明禅師が建て直し、清勝寺と名づけられました。まつられているのは聖観世音菩薩です。

千葉村長頌徳碑

行った日

穴虫池と大塩のじぎくの里公園の間にあり、表面に「千葉村長頌徳碑」と彫られています。

日笠山のじぎく園

行った日

菅原道真に関係するといわれる「岩神社」から登る日笠山の南斜面にのじぎくを育てている「日笠山のじぎく園」があります。秋（11月ごろ）には斜面全体がのじぎくの花で真っ白になります。

明泉寺

行った日

浄土真宗本願寺派のお寺ですが、もとは天台宗の大養寺という名前で、大乗神社の近くにありました。元和元年（1615）に今の場所に移り、明泉寺と名づけられました。裏庭に「康応元年」（1389）と彫られた宝篋印塔の一部分があります。